

に、文部を重視した県政運営を心掛けてきた。公約と「県民の皆さんがどのようになっているか、就任直後にうに評価してくれるかが重知事退職金と副知事2人制要で、選挙公約をどれぐらの廃止を実現した。リーマイ実現できるのか見えていない。ショックの影響で、知ほしい。任期はまだ1年残事に就任したときは県内もっている。(4年間で)成敵しい経済情勢にあり、雇果を挙げられるようしつつか用創出1万人プランを実施り取り組む」

した。引き続き2年間で2 ー4年目の課題は何か。万人の雇用を確保する雇用 「12年度は県総合発展計安心プロジェクトに取り組 画短期アクションプランの



インタビューに答える吉村美栄子知事(県庁)

鶴岡市や慶応大、鶴岡地区医師会などは来年度から、生活習慣病のメカニズムを明らかにして予防法の確立を目指す「鶴岡みらい健康調査」を開始する。慶応大先端生命科学研究所のメタボローム(代謝物質)解析技術を駆使し、協力する鶴岡市民1万人の健康状態を長期にわたって追い掛け、将来の市民健康などに役立てるのが狙い。

鶴岡市など 来年度から「みらい健康調査」

予防法 確立めざす

生活習慣病

参加者の血液と尿を解析することで、がんや脳卒中など生活習慣病に体質的要因や生活習慣がどのように影響しているのかを解明したり、病気を早期に予測する指標を発見するための取り組み。先端研のメタボローム解析技術を、同大とながりのある鶴岡市民の健康に役立てるため、市と同大、鶴岡地区医師会、市立荘内病院などが連携して実施する。

調査では、人間ドック健診を受ける35〜74歳の市民1万人ほどから協力を得る。まずは来年度から3年間、約3千人ずつ実施。参加者は普段の生活についてのアンケートの他、通常と同じ人間ドック健診を受ける。血液検査と尿検査のみ余分に試料を採取。3年ごとに採取・分析する予定

1万人を長期追跡

慶応大先端研の技術駆使

で、参加者の健康状態を25年間程度追ひ掛けることになるという。

参加費は通常の人間ドック健診費用のみ。一度参加した後に取りやめることもできる。個人が特定できない状態で解析するため、参加者本人に個人の結果が知らされることはない。調査で得られた情報などは市民向けの発表会や市広報などを通して公表する予定。山形大の「山形分子疫学コホート研究」とも協力しながら調査を進めるという。

調査責任者の武林亨慶応大医学部教授は「すぐに結果が出る調査ではないが、未来の鶴岡に『健康』という贈り物を届けられるように、市民の皆さんと協働で取り組んでいきたい」と話していた。

問い合わせは鶴岡市政政策推進課0235(25)2111か慶応大先端研からだ館かん情報ステーション0235(26)0806。

多重債務者対策など

「基本計画」最終案で意見交換

県消費生活審議会(会長 国方敬司山形大人文学部教授)が27日、県庁で開かれ、2012年度から5年間の消費者行政の指針となる「県消費者基本計画」の最終案について意見を交わした。インターネットに関連した架空請求被害の防止、多重債務者対策などが盛り込まれ、近く県に答申する。

基本計画は▽消費者被害の防止・救済▽安全・安心

な商品、自ら考え行育が取り込みで相談対応、の迅速な集展開する。正表示、放などを徹底務問題では会の開催(所)、多重所の開催、た貸金業者

協会けんぽ

26道府県

12年度 本県の保険料率

中小企業の従業員と家族約3500万人が加入する全国健康保険協会(協会けんぽ)は27日、2012年度の新たな地域別の保険料率を10・16%(佐賀県)9・85%(長野県)と決めた。4月の給与天引き分から、負担は労使折半。すべての都道府県で料率が引き上げられ、うち26道府県で10%以上になる。本県は9・96%で11年度

から0・51た。全国並50%から00%と、昇。前身の保険を含めた。月給的加入者は年間約え約19万円働省の認可する。保険料率

いった新たな次にとらすよりも目の全力で取り一再選出明の時期は「現段階はない」

—東日本